



エコアクション21
認証番号0007574

環境経営レポート

2023年度



活動期間：2023年7月～2024年6月



株式会社 相生

2024年7月30日発行



目 次

| | |
|----------------------|-----|
| 1. 事業所の概要 | … 1 |
| 2. 環境経営方針 | … 2 |
| 3. 環境経営目標 | … 3 |
| 4. 取組期間の実績 | … 4 |
| 5. 環境経営活動計画 | … 5 |
| 6. E A 2 1 実施体制 | … 6 |
| 7. 環境経営活動の取組結果の評価 | … 7 |
| 8. 環境関連法規への違反、訴訟等の有無 | … 8 |
| 9. 代表者による評価と見直し | … 9 |



事業所の概要

1) 事業所名及び代表者名

株式会社 相生
取締役社長 山口 洋二

2) 所在地

本 社 〒848-0028
佐賀県伊万里市脇田町1204番地5
TEL 0955-23-9060
FAX 0955-23-9061
Web <http://aioisaga.jp>
e-mail aioisaga@jeans.ocn.ne.jp

3) 事業内容

佐賀県知事許可(特)3759号 土木・管・水道施設・舗装工事業
佐賀県知事許可(般)3759号 造園・解体工事業

4) 事業規模

| 項目 | 単位 | 2020年度 | 2021年度 | 2022年度 | 2023年度 |
|-------|----------------|--------|--------|--------|--------|
| 売上高 | 百万円 | 375 | 744 | 632 | 468 |
| 従業員数 | 人 | 24 | 24 | 30 | 30 |
| 床面積計 | m ² | 322 | 322 | 322 | 322 |
| (本社) | m ² | 322 | 322 | 322 | 322 |
| (営業所) | m ² | - | - | - | - |

※ 事業年度は7月1日起算、翌年6月30日決算

5) 法人設立

昭和53年 6月 5日

6) 資本金

20百万円

7) 認証・登録の範囲

当社は全組織・全活動を認証登録対象範囲としています

- ・対象範囲：本社
- ・事業活動：土木工事業・管工事業・水道施設工事業
舗装工事業、造園工事業

環境経営方針

私達は管・土木・水道施設・造園工事等を通じ、「住みよい環境」をつくっている反面、その副産物「環境負荷」を生じさせています。

当社は「環境負荷」から「環境付加」に替えることを目標とし、社員一人一人が環境への配慮・継続的改善を念頭に「地球にやさしい住みよい環境」を目指し、事業活動を行います。

【環境保全への行動指針】

- (1) 自動車・重機燃料を削減を推進し、二酸化炭素排出量を削減する
- (2) 電気使用量を削減を推進し、二酸化炭素排出量を削減する
- (3) 建設廃棄物の分別・リサイクルを推進し、排出量を削減する
- (4) 水使用量の削減を推進する
- (5) 化学物質の適正な使用を推進する
- (6) 現場における環境にやさしい施工を推進する
- (7) 地域貢献活動を推進する

【法令順守】

環境関係法令はもとより、地域協定等を遵守します。
また、この方針を全社員に周知徹底・発信し、社内外にとらわれない『大きな輪』となるよう努めます。



制定日 2010年12月24日
改定日 2021年9月1日

 **株式会社 相生**

取締役社長 山口 洋二

環境経営目標

当社は今後3ヶ年の取組にあたり、2021年度を基準期間とし、3ヶ年の環境目標を設定します。

| 項目 | | 種別 | 単位 | 基準期間 2021年度 | 2022年度 | 2023年度 | 2024年度 |
|---------|--------------|----|----------------|------------------|-------------------|-------------------|-------------------|
| ① | 二酸化炭素 排出量 | 全社 | kg-CO2 | 119,828 | 118,630 (1%削減) | 117,431 (2%削減) | 116,233 (3%削減) |
| | a 電力使用量 | 全社 | kWh | 19,981 | 19,781 (1%削減) | 19,581 (2%削減) | 19,382 (3%削減) |
| | b ガソリン使用量 | 全社 | ℓ | 20,978 | 20,768 (1%削減) | 20,558 (2%削減) | 20,348 (3%削減) |
| | | 本社 | | 2,026 | 2,006 (1%削減) | 1,985 (2%削減) | 1,965 (3%削減) |
| | | 現場 | | 18,952 | 18,762 (1%削減) | 18,573 (2%削減) | 18,383 (3%削減) |
| c 軽油使用量 | 現場 | ℓ | 24,623 | 24,377 (1%削減) | 24,131 (2%削減) | 23,884 (3%削減) | |
| ② | 廃棄物排出量 | 現場 | % | 94.7 | 95.0 | 96.0 | 97.0 |
| ③ | 水使用量 | 全社 | m ³ | 137 | 136 (1%削減) | 134 (2%削減) | 133 (3%削減) |
| ④ | 化学物質使用量 | 現場 | kg | 67 | 66 (1%削減) | 66 (2%削減) | 65 (3%削減) |
| ⑤ | 環境へ配慮した施工 | 現場 | 評価点 | 30 | 31 | 32 | 33 |
| ⑥ | 地域貢献 | 本社 | 回/年 | 4 | 4 | 4 | 5 |
| | | 現場 | 回/年 | 12 | 12 | 12 | 13 |

※電力の二酸化炭素排出係数は九州電力の令和3年度調整後排出係数「0.382kg-CO2/kWh」を使用する

※農業に含まれる少量のPRTR制度対象物質を使用しているため、化学物質の適切な使用の推進に取り組みます。

取組期間の実績 (2022年7月~2023年6月)

| 項目 | | 種別 | 基準期間 2021年度 | 2023年度 (目標値) | 2023年度 (実績値) | 達成率 | 判定 | | |
|----|--------------|-----------------------------|----------------|-----------------|-----------------|---------|--------|------|---|
| ① | 二酸化炭素 排出量 | 総量 (kg-CO ₂) | 全社 | 119,828 | 117,431 | 128,044 | 92% | △ | |
| | a | 電力使用量 | 総量 (kWh) | 全社 | 19,981 | 19,581 | 19,005 | 103% | ○ |
| | b | ガソリン使用量 | 総量 (ℓ) | 全社 | 20,978 | 20,558 | 24,066 | 85% | × |
| | | | | 本社 | 2,026 | 1,985 | 2,153 | 92% | △ |
| | | | | 現場 | 18,952 | 18,573 | 21,913 | 85% | × |
| c | 軽油使用量 | 総量(ℓ) | 現場 | 24,623 | 24,131 | 25,175 | 96% | △ | |
| ② | 廃棄物排出量 | 削減率(%) | 現場 | 94.7 | 96 | 94.0 | 98% | ○ | |
| ③ | 水使用量 | 総量(m ³) | 全社 | 137 | 134 | 113 | 119% | ○ | |
| ④ | 化学物質使用量 | 総量(kg) | 現場 | 67 | 66 | 25 | 264% | ○ | |
| ⑤ | 環境へ配慮した施工 | 現場(評価点) | | 30 | 32 | 32 | 100% | ○ | |
| ⑥ | 地域貢献 | 本社(回/年) | | 4 | 4 | 4 | 100% | ○ | |
| | | 現場(回/年) | | 12 | 12 | 12 | 100% | ○ | |

※電力の二酸化炭素排出係数は九州電力の令和3年度調整後排出係数『0.382kg-CO₂/kWh』を使用する

※達成率 ○ : 98%以上 △ : 98%未満~90%以上 × : 90%未満

環境経営活動計画

1. ガソリン・軽油等燃料費削減

- ① 車両の急発進・急加速をなくし、5秒以上の停車時にはアイドリングストップなど、エコドライブに努めます。
- ② 資材運搬において過積載防止は当然ながら、運搬ルート及び時間を見直すことで、『合い積み』運搬を推進し、人件費・燃料費・CO₂排出量の削減に努めます。
- ③ 適正な空気圧、グリプアップ[®]など細やかな点検整備を行い、耐用年数・燃費を向上させ、CO₂排出削減に努めます。
- ④ 工事において手直しが生じないよう、進捗をチェックし、日頃から最善の工程が導けないか留意します。

2. 電力使用量の削減

- ① 冷暖房の設定温度は±1℃で約10%の消費電力差があり、夏季は26℃、冬季は24℃を基準温度とし、節電に努めます。
- ② 外出時・昼休みの消灯、未使用OA機器の電源を切ります。

3. 廃棄物の削減

- ① 現場管理に留意し、手直し等の抑制を図ります。
- ② 紙は資源であり、焼却せずに100%リサイクルを目指します。
- ③ 裏面コピー・両面印刷を励行し、紙の無駄をなくします。
- ④ 文書等はデータ化・保存し、ペーパーレス化を図ります。
- ⑤ 機密(個人情報)文書はシュレッダー処理します。
- ⑥ 混合廃棄物は各々資源となるよう分別を心がけます。
- ⑦ 3R (Reduce:減量・Reuse:再使用・Recycle:再生利用)

4. 水道使用量の削減

- ① こまめな止水を心がけ、ストップ付きノズル・節水コマを使用します。

5. 化学物質使用量の削減

- ① 農薬の希釈倍数、接着剤等の揮発防止など適正な管理をします。

6. 環境へ配慮した施工

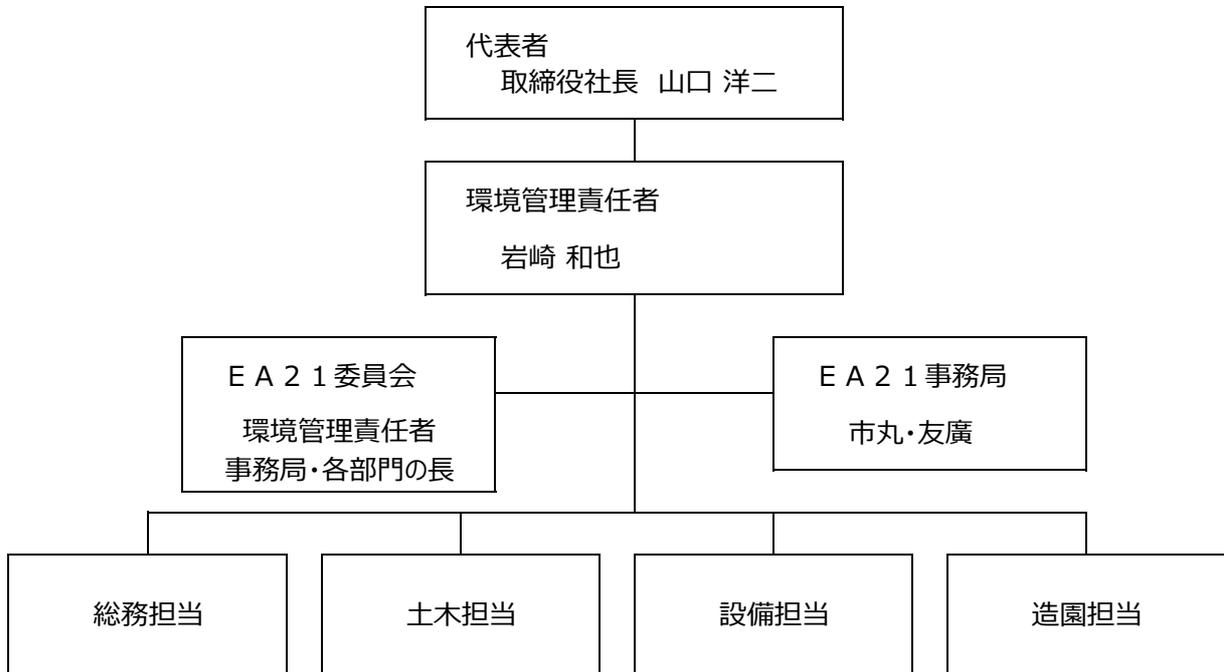
- ① 環境に配慮した資機材の選定、余剰資材を削減します。

7. 地域貢献活動の推進

- ① 自治体・消防協定を柱に地域への貢献活動を推進します。

従業員数 30名

E A 2 1 実施体制



役割分担表

| 所属 | 役割・責任・権限 |
|-------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 代表者 | <ul style="list-style-type: none"> 代表者として環境経営全般について責任と権限を持つ 環境方針を作成・見直し、環境方針を含む環境文書を周知徹底する 環境管理責任者、E A 2 1 事務局員を任命する 環境への取組を実施するための資源を準備する E A 2 1 全体の取組状況に関し評価、見直しを実施する |
| 環境管理責任者 | <ul style="list-style-type: none"> E A 2 1 ガイドラインの要求事項を満たす環境経営システムを構築・実行し、環境実績を向上させる 環境方針以外の環境文書の制改定責任者 上記の結果を社長に報告する |
| E A 2 1 事務局 | <ul style="list-style-type: none"> 環境管理責任者を補佐し、E A 2 1 文書及び記録類の作成・維持・監理を行う 社外からの環境情報の収集、伝達を行う |
| E A 2 1 委員会 | <ul style="list-style-type: none"> 環境経営目標及び環境経営計画の伝達 各部門の実施状況、目標達成状況、問題点などの報告 環境経営活動に関する意見交換 |
| 部門長 | <ul style="list-style-type: none"> 環境方針、自部門の環境目標、環境活動計画を部門全員に周知する 自部門の環境目標、環境活動計画の達成と実績の把握を行う 自部門で発生した問題点の是正処置、予防処置を実施する 自部門に関連する法規制等を遵守する 自部門に関連する緊急事態への準備及び対応の訓練を実施する 自部門の教育・訓練を実施する |
| 全社員 | <ul style="list-style-type: none"> 環境方針の理解と環境問題への取組の重要性を自覚する 環境活動に積極的に参加する |

※ 1 環境記録の保存期間は5年とする。

※ 2 エコアクション21委員会の開催を3ヶ月に1回とする。

環境経営活動の取組結果の評価と次年度の取組

①二酸化炭素排出量の削減

| 取組対象 | 達成状況 | 取組計画 | 実施状況 | 評価(今後の方針) |
|----------------|------|---------------|------|--------------------------------------------------------------------|
| 電気 使用量の削減 | ○ | ・空調温度の適正化 | ○ | これまでの取り組みを維持する。フィルター清掃による空調機負荷低減、快適で健康的な環境のためにも換気が必要であり、バランスに留意する。 |
| | | ・不要照明の消灯 | ○ | |
| | | ・不要OA機器の節電 | ○ | |
| ガソリン 使用量の削減 | × | ・エコドライブの励行 | ○ | 目標未達だったが、エコドライブの意識は定着。車両更新時にはエコカーを採用。夏季現場での避暑(発電機)について対応していく。 |
| | | ・運搬方法、ルートの見直し | ○ | |
| | | ・車両の点検、整備の励行 | ○ | |
| 軽油 使用量の削減 | △ | ・エコドライブの励行 | ○ | オートアイドル機の採用や、作業に応じたアクセル操作は浸透している。工種の影響も大きいですが、今後も取組を実施していく。 |
| | | ・建設機械の整備点検 | ○ | |
| | | ・最良の工法、工程の見直し | ○ | |

②廃棄物排出量の削減

| 取組対象 | 達成状況 | 取組計画 | 実施状況 | 評価(今後の方針) |
|------------------------|------|-------------|------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 建設廃材の リサイクル率の 向上 | ○ | ・手直し等の抑制 | ○ | 一般、産業廃棄物ともに適正な処理を行っている。リサイクル率の目標は未達成となったが、建設発生土についてもできる限り現場内利用、それ以外についても畑地の嵩上げ(認可済み)用土とし、再利用に努めている。 |
| | | ・紙類のリサイクル推進 | ○ | |
| | | ・両面印刷等の励行 | ○ | |
| | | ・ペーパーレス化の推進 | ○ | |
| | | ・混合廃棄物の分別推進 | ○ | |
| | | ・産業廃棄物の適正処理 | ○ | |

③水使用量の削減

| 取組対象 | 達成状況 | 取組計画 | 実施状況 | 評価(今後の方針) |
|---------|------|------------|------|------------------------|
| 水使用量の削減 | ○ | ・こまめな止水の励行 | ○ | 目標を達成している。これからも維持していく。 |
| | | ・節水コマの採用 | ○ | |

④化学物質の適正な使用

| 取組対象 | 達成状況 | 取組計画 | 実施状況 | 評価(今後の方針) |
|--------|------|----------------------|------|-------------------------------------|
| 使用量の削減 | ○ | 化学物質の適正管理及び、揮発・漏洩の防止 | ○ | 希釈倍数・保存方法を始め、適正な管理を維持していく。 ※農薬指導士在籍 |

⑤現場における環境にやさしい施工の推進

| 取組対象 | 達成状況 | 取組計画 | 実施状況 | 評価(今後の方針) |
|-----------|------|---------------------------------------------|------|-----------------------------------------------------------|
| 環境へ配慮した施工 | ○ | グリーン購入法適合品等の利用、余剰資材の削減・合理化、騒音・振動に配慮した機械類の選定 | ○ | エコドライブ、過積載防止を推進し、再生材を有効に利用、余剰資材を削減する。機械についても環境配慮機を選定していく。 |

⑥地域貢献活動の推進

| 取組対象 | 達成状況 | 取組計画 | 実施状況 | 評価(今後の方針) |
|------|------|---------------------------------|------|--------------------------------|
| 地域貢献 | ○ | ・本社および現場の環境整備 ・災害時に不時出勤・応急措置 | ○ | 四半期ごとに本社周辺の環境整備実施。現場においては毎日実施。 |

環境関連法規への違反、訴訟等の有無

| 法規の名称 | 遵守項目 |
|----------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 廃棄物の処理及び清掃に関する法律 第6条 | ・一般廃棄物の収集・運搬・処分について、それぞれ許可を受けた業者に委託すること |
| 第12条 則第8条 令第6条 | ・保管基準 ・収集運搬・処理委託業者との契約、許可証写しの保管 ・マニフェストの交付・保管、報告書 |
| 第16条 | ・投棄、焼却の禁止 |
| リサイクル法 第4条,5条,9条 第15条,34条 令19号,令20号 | ・特定建設資材廃棄物の再資源化の促進 ・再資源化物の利用促進 ・再生資源利用(促進)計画(実施)書の作成および1年間の保存 |
| 建設リサイクル法 第10条、12条 13条、16条 18条、39条 | ・対象建設工事の届出等 ・対象建設工事の届出に係る事項の説明等 ・対象建設工事の請負契約に係る書面の記載事項 ・再資源化等実施義務 ・下請負人に対する元請業者の指導 |
| 騒音規制法 第3条,14条 | ・特定建設作業の届出 指定された機械を使用する作業 |
| 第4条 | ・規制基準の遵守 |
| 振動規制法 第3条、14条 | ・特定建設作業の届出 指定された機械を使用する作業 |
| 第4条 | ・規制基準の遵守 |
| グリーン購入法 | ・事業者等はできる限り環境物品等の選択に努める。 |
| オフロード法 第4条,17条 排出抑制指針 | ・建設機械の排ガス対策型機械の使用義務 ・燃料の選択及び点検整備の実施 |
| 自動車リサイクル法 第5条,8条,73条 | ・所有者の責務、使用済み自動車の引渡し義務 ・再資源化預託金等の預託義務 |
| フロン排出抑制法 第16条,37条,39条,41条,43条,86条,87条 | ・第一種特定製品の点検、第一種特定製品の充填委託義務、引渡義務 ・フロン引渡し、回収・引取・委託の各書類の授受 ・フロン類の放出禁止 |
| 家電リサイクル法 第6条,11条,12条 | ・事業者及び消費者の責務 |
| 小型家電リサイクル法 第7条 | ・事業者の責務 |
| PRT法 第2条 | ・法適用条件 |
| 農薬取締法 第11条,12条 | ・農薬使用の禁止、規制 |
| 第12条の3 | ・農薬使用の指導 |
| 浄化槽法 第5条の1,4 第6条 | ・設置等の届出 ・浄化槽工事の施工 |
| 上記の環境関連法規の遵守状況を確認・評価した結果、違反はありませんでした。 | |
| また、関係機関等からの指摘、及び利害関係者からの訴訟もありませんでした。 | |

代表者による評価と見直し

評 価

・環境への取組

今年度も燃料関係で目標達成できなかった項目が多い。これまでのエコドライブ維持を基本とし、車のメンテナンス、重機の旋回角度を考慮する等、施工方法の改善にも取り組んでいく。

また、省燃費建設機械の活用、再生資材の利用促進、廃棄物の削減、工期の短縮、資機材運搬の効率化など、低炭素化に取り組む。

・環境経営システム

四半期ごとの報告会により、環境経営システムは有効に機能している。今後もエコ活動を推進していく。

見 直 し

・環境経営方針は継続する

・環境経営目標

「施工の環境性能の向上」を「環境に配慮した施工」に変更

・新規採用、退職等

環境経営計画、実施体制を変更

 **株式会社 相生**

取締役社長 山口 洋二